確率から 逆に 求める ドリル③

中2／ドリル 項目5 ③（逆向き・与え方を変える）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・「さいころ2個」の 問題。くじ・玉・さいころ・硬貨は どの 結果も 同じ 程度に 起こる ものと する。どの 問題も、大小2個の さいころを 投げる。大問1は、各問の 文の □に あてはまる 目の 和（2〜12）を すべて、その 問の 四角に 書く（2つ あるときは「、」で つなぐ）。
・大問2は、目の 和が ある 値に なる 確率が、別の 値に なる 確率の 何倍かを、整数で その 問の 四角に 書く。
・大問3・4は、ラベルの ついた 四角に、出方の 数（数だけ）と 確率（約分した 分数）を 書く。

大問1 確率から 和を 求める

(1) 目の 和が □ に なる 確率が $\frac{5}{36}$ の とき、□ に あてはまる 数を すべて 書く。

答え □

(2) 目の 和が □ に なる 確率が $\frac{1}{12}$ の とき、□ に あてはまる 数を すべて 書く。

答え □

(3) 目の 和が □ に なる 確率が $\frac{1}{6}$ の とき、□ に あてはまる 数を すべて 書く。

答え □

大問2 確率を くらべる

(1) 目の 和が 5に なる 確率は、目の 和が 2に なる 確率の 何倍？ □ 倍

(2) 目の 和が 11に なる 確率は、目の 和が 12に なる 確率の 何倍？ □ 倍

大問3 大の目ごとに 数える

(1) 小の目が 大の目の 約数に なる 出方を、大の目ごとに 数える。

大が 1 □　大が 2 □　大が 3 □　大が 4 □　大が 5 □

大が 6 □　全部で □ 通り　確率 □

大問4 和が 偶数に なる 出方

(1) 目の 和が 偶数に なるのは、大の目も 小の目も 奇数の とき、または 大の目も 小の目も 偶数の ときだけ。それぞれの 出方を 数える。

大も 小も 奇数 □ 通り　大も 小も 偶数 □ 通り　和が 偶数 □ 通り

確率 □

確率から 逆に 求める ドリル③【こたえ】

中2／ドリル 項目5 ③(逆向き・与え方を変える)／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1 確率から 和を 求める

(1) 目の 和が □ に なる 確率が $\frac{5}{36}$ の とき、□ に あてはまる 数を すべて 書く。

答え **6、8**

(2) 目の 和が □ に なる 確率が $\frac{1}{12}$ の とき、□ に あてはまる 数を すべて 書く。

答え **4、10**

(3) 目の 和が □ に なる 確率が $\frac{1}{6}$ の とき、□ に あてはまる 数を すべて 書く。

答え **7**

大問2 確率を くらべる

(1) 目の 和が 5に なる 確率は、目の 和が 2に なる 確率の 何倍? **4** 倍

(2) 目の 和が 11に なる 確率は、目の 和が 12に なる 確率の 何倍? **2** 倍

大問3 大の目ごとに 数える

(1) 小の目が 大の目の 約数に なる 出方を、大の目ごとに 数える。

大が 1 **1** 大が 2 **2** 大が 3 **2** 大が 4 **3** 大が 5 **2**

大が 6 **4** 全部で **14** 通り 確率 $\frac{7}{18}$

大問4 和が 偶数に なる 出方

(1) 目の 和が 偶数に なるのは、大の目も 小の目も 奇数の とき、または 大の目も 小の目も 偶数の ときだけ。それぞれの 出方を 数える。

大も 小も 奇数 **9** 通り 大も 小も 偶数 **9** 通り 和が 偶数 **18** 通り

確率 $\frac{1}{2}$

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) 6、8 (2) 4、10 (3) 7。和ごとに マスの 数は ちがう。

大問2 (1) 4倍(和5は 4マス、和2は 1マス) (2) 2倍(和11は 2マス、和12は 1マス)。和の 出方は 同じ 程度に 起こらない。

大問3 大が 1~6 → 1・2・2・3・2・4。合わせて 14通り。

大問4 奇・奇 9通り、偶・偶 9通り → 和が 偶数は 18通り。和の 偶奇は 半分ずつ(積は ちがう)。

別解の 扱い: 確率は 約分した 分数(上下でも 斜め線でも ○。小数・百分率・約分前は ×)。場合の数は 数だけ(「通り」は あっても ○)。